

平成22年度 最終補正予算の概要

■主な歳入予算	
住民生活に光をそそぐ交付金 (追加交付分)	4,265万3千円
■主な歳出予算	
土に学ぶ里研修センター改修事業 (農業集落排水処理施設接続)	4,000万円
高島市民会館改修事業 (本館屋根改修)	1,650万8千円
今津東コミュニティセンター改修事業 (音響設備改修)	1,178万1千円
藤樹の里文化芸術会館改修事業 写真3 (屋外給水管改修)	474万4千円



写真1 マキノ東小学校屋内運動場



写真2 除雪作業



写真3 藤樹の里文化芸術会館

平成22年度 2月補正予算の概要

■主な歳入予算	
きめ細かな交付金	1億8,959万円
住民生活に光をそそぐ交付金 ※二次交付額4,265万3千円の追加内示(H23.2.10)	5,045万7千円
安心・安全な学校づくり交付金	4,960万6千円
地方交付税 (普通交付税)	1億3,408万2千円
基金繰入金 (財政調整基金 1億5,000万円) (教育施設整備基金 2億円)	3億5,000万円

■主な歳出予算	
マキノ東小学校屋内運動場改築事業 写真1	2億4,316万円
マキノ中学校柔剣道場地震補強事業	3,840万5千円
知内漁港、浜分漁港の改修工事費	4,830万円
生活道路・普通河川の改修工事費あわせて	4,030万円
小・中学校の施設修繕工事費あわせて	6,100万円
新旭体育館の屋根改修工事費	2,790万円
新旭学校給食センターの厨房機器の更新経費	3,200万円
ガリバーホールの舞台装置・設備改修工事費	6,201万円
大雪による除雪経費等の追加 写真2	1億6,454万2千円

高島市議会

高島新政クラブだより

第23号

編集・発行
高島新政クラブ
高島市新旭町
北畑565番地



JR快速電車

市民の日常生活と深い関わりのある国、県、JRの各事業の進捗状況をタイムリーに市民皆様に情報発信されたいと考えます。特に

- ① 国道一六一号バイパスの改良整備促進
- ② JR湖西線の朝、夕の通勤、通学電車の増便と防風対策

この課題を解消することが市の基盤の底上げに繋がるものです。しかし、これらの事業は、市独自の力では如何ともしがた

特に、国道一六一号の小松拵市の通称「よるい岩」は今日までの事故で迂回路もなく、高島市をマヒさせてきました。この行政区域は大津市ではありませんが、改良整備の動きが非常に鈍いと感じます。市長及び地元県議を含め大津市側と連携を強化すべきと考えます。JR湖西線は平成十八年十月のびわこ環状線開通時に増便を期待したが、全て北陸線重視のダイヤ改正となった。当時北陸線の長浜駅〜近江塩津駅間(七駅)と湖西線近江高島駅〜永原駅間(七駅)の乗降人員を比較しても湖西線の利用客が多いのに何故か？滋賀県の交通政策に疑問を感じる。防風対策について昨年末から二月までの風による運休が二十七本と非常に多い。市外、県外から高島市を見る眼はマイナスイメージを与え、特に就職問題や通勤、通学に大きな影

高島市の産業経済基盤、生活基盤を底上げするための施策、打開策について

を落としています。大津、高島、長浜の三市に関わることであり、早急な対策協議をされたいと考えます。この二つの問題解決の糸口として、県議会の中核で活躍中の清水、石田両県会議員の力に頼るところ大であります。是非、両県会議員と市長との「定例会議」を開くことが問題解決の近道と考えますが、市長の見解を質します。

その他の質問 北川ダムの建設のことについて

国策や県の政策決定によって実施されてきたダムが四年間中止されています。一番困るのは市民であります。ダムか、河川改修か、施策の論点はさておき、一日も早く地域の安全、安心のために尽力されたいと考えますが、市長の見解を質します。

会派代表 一般質問

会長 清水日出夫

一般質問要旨 (質問順)

宮内 英明 議員

- ① 「地域主権」と関西広域連合と高島市の在り方について問う
- ② 環太平洋パートナーシップ協定「TPP」と地産地消と「地産外商」について問う
- ③ 大雪被害と除雪排雪対策の問題と改善策を国道事務所、県土木事務所との事前協議について問う

梅村 彦一 議員

- ① 湖西分場跡地利用について
- ② びわ湖源流の郷たかしま戦略策定事業に期待するもの

前川 勉 議員

- ① 市役所新庁舎について
- ② 指定管理者制度について

秋永 安次 議員

- ① 高島市の防災体制について
- ② 高島市農業施策について

廣本 昌久 議員

- ① 高島市総合計画を核とした整合性のある個別計画の策定を
- ② 「コミ減量大作戦」について

橋本 恒夫 議員

- ① 林業振興について問う
- ② コミュニティバスの利用について
- ③ 上下水道部における課題とその対策について

新政クラブ議員紹介 (議席順)



事務局長/政務調査部会
万木 豊 議員
(鴨・TEL.36-1345)



政務調査部会
廣本 昌久 議員
(今津町・TEL.22-2266)



副会長/広報部会
秋永 安次 議員
(安曇川町・TEL.34-0868)



広報部会長
前川 勉 議員
(今津町・TEL.22-0449)



広報部会
橋本 恒夫 議員
(今津町・TEL.24-0202)



政務調査部会
梅村 彦一 議員
(安曇川町・TEL.34-0113)



総務部会
宮内 英明 議員
(今津町・TEL.22-0219)



総務部会長
駒井 芳彦 議員
(朽木・TEL.38-2515)



会長/総務部会
清水 日出夫 議員
(鴨・TEL.36-1055)



政務調査部会長
渡邊 近治 議員
(マキノ町・TEL.27-0158)

平成23年度 当初予算の概要

西川市政 3 年目の大型予算が次のスローガンと実現のための 6 つの柱に基づき提案され、高島新政クラブは前向きな積極市政を評価し賛成しました。

スローガン

住みたいまち～「びわ湖源流の郷たかしま」～
の実現を目指して

6 つの柱

- 1 「びわ湖源流の郷たかしま」 戦略計画**
・びわ湖源流の郷たかしま戦略策定事業…………… 720万円
- 2 活力ある地域産業の創生**
・地域特産品振興事業…………… 1千891万円
・びわ湖源流の森活性化事業…………… 3千490万6千円
・高島地域材流通促進事業…………… 1千353万円
・企業活動支援事業…………… 6千70万円
・竹林再生事業…………… 500万円
- 3 いきいきコミュニティの創生**
・みんなで創るまちづくり事業…………… 1億3千515万7千円
・市民協働提案事業…………… 1千万4千円
- 4 ゴミ減量社会の創生**
・ゴミ減量大作戦事業…………… 985万3千円
- 5 健やかな市民生活の創生**
・子ども手当支給事業…………… 10億488万円
・特定不妊治療費助成事業…………… 200万円
・集落巡回販売支援事業…………… 200万円
・予防接種事業…………… 1億4千169万6千円
・私立幼稚園施設整備事業費補助…………… 9千974万円
・(仮称)高島総合病院整備事業…………… 46億7千42万5千円
・小規模多機能型居宅介護整備等事業補助…………… 4千307万2千円
・アレルギー対応調理人設置…………… 151万4千円
・保育園看護師配置…………… 265万1千円
・住まい手支援事業…………… 3千万円
- 6 教育の充実**
・小中一貫教育推進事業…………… 688万1千円
・マイスクール事業…………… 938万3千円
・地域で育む高島こどもの宿事業…………… 100万円



ゴミ大作戦



高島病院建築中

当初予算の規模

一般会計総額	269億8千万円	(対前年 14億4千万円増	5.6%増)
特別会計総額	132億7千万円強	(対前年 1千500万円弱減	0.1%減)
事業会計総額	109億3千万円強	(対前年 32億7千万円強増	42.7%増)

平成23年度 高島市一般会計 予算案の賛成討論

西川市政 3 年目となる平成 23 年度予算案は 269 億 8 千万円。対前年度 14 億 4 千万円、5.6%増という、大きな予算額で提案をされました。

現下の厳しい財政状況でございますが、これまで病院建設準備基金への計画的な積み立てをはじめ、可燃物ごみの収集体系や路線バス運行体系の見直し等による大幅な行政経費の削減など、鋭意、財源確保に努められ、病院建設事業に伴う財政支出によって、行政サービスの低下を招かぬよう、種々の配慮がなされたものと存じます。

こうした中で、新たに市政運営の柱に、「住みたいまち びわ湖源流の郷 たかしま」の実現を提唱され、奥山から里山、里住から里湖へとつながる、自然の恵みと地域の営みを「暮らし・産業・文化」を育む戦略として捉え、力強く内外に発信していくこととされております。

平成 23 年度予算案では、こうした運営方針の下、活力ある地域産業の創生をはじめ、市民生活の安心・安全を確保する保健・福祉・医療の充実、地域を支えるコミュニティの充実など 6 つの柱を掲げ、編成されたものであります。

平成23年度 高島市病院事業 会計予算案の賛成討論

平成 23 年度高島市病院事業会計予算は、収益的収入及び支出 42 億 5,400 万円、資本的支出は 49 億 1,657 万円が計上されております。

平成 23 年度は、高島市において医師・看護師等が不足する中で、二次救急医療機関として 24 時間体制で 365 日、手術のできる救急体制と災害拠点病院としての災害時の医療体制を確保して、高島市民に安心を与えるための運営予算と、来年の 5 月に開院予定である「高島市民病院」の本棟建築工事が大詰めを迎えるとともに、医療機器や医療情報システム等の導入を図り、市民からの期待に応える準備期間として極めて重要な年度となり、それらにかかる予算が計上されております。

全国的にも自治体病院を取り巻く状況が厳しい中であるからこそ、市は今回のプロジェクトを成功させるとともに、建設後の新病院を健全な経営へと導いていく必要がありま

す。こうしたことから、今回の当初予算案は新病院の開院に向かう重要な予算であるとともに、常勤医師・看護師の確保と経営安定を図ることを目的としており、市民の方々への安心・安全な医療が提供できる地域の中核病院としての役割を果たすものであることから、平成 23 年度高島市病院事業会計予算案は、賛同すべきものであると判断し、賛成討論とさせていただきます。

高島市議会 6月定例会 スケジュール(案)

(下記日程は、変更になる場合があります)

5月	27	金	6月定例会招集告示	13	月			
			9:15 会派代表者会議		14	火	10:00	会派会議
			10:00 議会運営委員会			15	水	
		13:30 全員協議会	16				木	13:00 広報特別委員会
	28	土					13:30 全員協議会	17
29	日			18	土			
30	月	10:00	会派会議	19	日			
6月	1	水		20	月	10:00	【本会議】一般質問(個人)	
	2	木		21	火	10:00	【本会議】一般質問(個人)	
	3	金	10:00	【本会議】6月定例会開会	22	水		
	4	土			23	木	10:00	【本会議】一般質問(個人)
	5	日			24	金	10:00	予算常任委員会
	6	月	10:00	総務常任委員会	25	土		
	7	火	10:00	文教・産建常任委員会	26	日		
	8	水	10:00	議会運営委員会	27	月		予算常任委員会(予備)
			午後	総務常任委員会(予備)	28	火	13:30	議会運営委員会
	9	木		文教・産建常任委員会(予備)	29	水	9:30	全員協議会(議運結果報告)
	10	金					10:00	【本会議】6月定例会最終日
	11	土					30	木
12	日							

去る 3 月 11 日、未曾有の震災(東北地方太平洋沖地震、津波)によって、多くの方々がお亡くなりになられました。ここにご冥福をお祈り申し上げますと共に、負傷された皆様、および被災された皆様、被災地にご家族やご親戚、お知り合いのおられる皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。